



□欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	田子重小笠店	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0	/5		ふつう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5	/5		ふつう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.2	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		3.0		
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①グラスウール断熱材により外気性能を向上 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦外壁の断熱性能向上 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型器具の採用 ⑫リサイクル製品の採用 ⑬乾式工法採用により容易に分別可能とする ⑭有害物質を含まない建材の積極的な採用 ■敷地外環境対策 (⑮地球温暖化への配慮/⑯温熱環境悪化の改善) 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制 LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒 LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑯ 温熱環境悪化の改善			
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		2.8	
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑰耐震・免震/⑱信頼性) 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑰ 耐震性 2.1.2 ⑰ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑱ 空調・換気設備 2.4.2 ⑱ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑱ 電気設備 2.4.4 ⑱ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑱ 通信・情報設備		
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		3.5	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑲機能性・使いやすさ/⑳心理性・快適性/㉑空間のゆとり) ㉑階高5150mm ■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮) 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑲⑳ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ㉑ 階高のゆとり 3.1.2 ㉑ 空間の形状・自由さ Q-3 3 3.1 ㉒ 地域性への配慮、快適性の向上			
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		1.2		
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) ■敷地外環境対策 (㉕温熱環境悪化の改善) 	Q-3 1 ⑳ 生物環境の保全と創出 2 ㉓ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ㉔ 敷地内温熱環境の向上 LR-3 2 2.2 ㉕ 温熱環境悪化の改善			

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	田子重小笠店	階数	地上2F
建設地	菊川市下平川1277	構造	S造
用途地域	近隣商業地域・第2種住居地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2020年5月19日
敷地面積	6,497㎡	作成者	大村政人
建築面積	4,614㎡	確認日	2020年5月19日
延床面積	4,563㎡	確認者	金丸智昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。	その他 特になし	
Q1 室内環境 外壁及び天井裏の断熱材により室内への熱侵入に対し配慮した。 F☆☆☆☆を採用し室内環境の向上に配慮した。	Q2 サービス性能 高い天井にすることで空間を広く感じられるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー デシカント空調機等を採用し、省エネ化を図った。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材、有害物質を含まない材料を採用する。	LR3 敷地外環境 駐車場、駐輪場を必要量確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される